

平成28年11月 日

様

特定非営利活動法人 日本緑化工協会  
理事長 中野裕司



## 第38回緑化工技術講習会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

本協会主催の緑化工技術講習会は、昭和54年の第1回開催以来、回を重ねるたびにご好評を得、お陰をもちまして本年は第38回をむかえ、別記のとおり開催する運びとなりました。

近年、斜面・法面緑化に対しては、緑化工技術・工法の適正な適用のみならず、生物多様性国家戦略、外来生物法などに示されますように、自然回復・生物多様性保全にまで配慮した緑化が求められております。しかし、これらは不確実性の高い工種を用いざるを得なく、緑化成績不良地の増加が問題となってきております。また、一方では増加する豪雨災害、火山災害などに対する配慮も求められ、生物多様性保全と斜面・法面の保護・侵食防止のバランスを如何にとるかについて問題となってきております。

このような昨今の斜面・法面緑化を取り巻く状況の変化に対応すべく、緑化工にご造詣の深い諸先生に講師をお願いし、緑化工を中心にした法面防災に関する設計・施工・検査などに関する講習を行います。今回は、緑化資材の価格に関する話題、全国の海岸防災林造成に関する話題、熊本地震により注目された断層地震と斜面・法面災害に関する話題と、3つの特集を組んで実施いたします。

今年度の講習の特色としては、生物多様性保全を目的にした緑化を行うべき処、法面保護、侵食防止を緑化目的として緑化を行うべき処を区分し、適正な事業推進を行うための方策についての情報についてお伝えいたします。全国フラットに生物多様性保全に配慮した斜面・法面緑化を行う事を求められる一方、生物多様性保全に配慮する取組は、地域性種苗(植物材料)の入手が困難であり、時間と経費を必要とし、さらには、モニタリング・管理を行うことが求められることから、全国フラットに実施することは困難です。このような問題を解決するための地域区分(ゾーニング)の考え方についての情報についてお伝えし、より良き緑化を行うための一助といたたく計画をしております。

時節柄ご多用のこととは存じますが、多数ご出席下さいますようご案内申し上げます。

敬具

## 第37回 緑化工技術講習会 案内

1. 主 催 特定非営利活動法人 日本緑化工協会  
〒125-0042 東京都葛飾区金町 5-35-5-206  
FAX:03-5660-1664  
E-mail : ryokkakou@gmail.com  
URL: <http://www.ryokkakou.jp>
2. 後 援 日本緑化工学会  
財団法人 日本緑化センター  
社団法人 全国特定法面保護協会  
NPO 法人 日本環境土木工業会
3. 開催日時 平成29年1月30日(月)13時00分～17時50分 (受付開始12時00分)  
平成29年1月31日(火)9時30分～15時00分
4. 会場

国立オリンピック記念青少年総合センター  
 センター棟 5F 501 号室  
 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1

地下鉄千代田線「代々木公園駅」下車4番出口徒歩約10分  
 小田急線各駅停車「参宮橋駅」下車徒歩約7分

国立オリンピック記念青少年総合センター  
 交通案内(交通アクセス)  
<http://nyc.niye.go.jp/facilities/d7.html>



### 5. 緑化工技術講習会 内容(演題・講演内容・講師)

時間	演題	講師
1/30(月)	特集1. 斜面・法面緑化資材などの価格情報 特集2. 海岸防災林再生の現状と課題	
1日目①13:00~14:30	全国の海岸防災林造成の現状と課題 - 樹林構造、樹種選定、樹林配置の視点から -	吉崎 真司 東京都市大学環境学部環境創生学科教授 海岸林学会会長
1日目②14:40~16:10	海岸防災林造成の植栽基盤盛土の現状と課題	長谷川 秀三 ジオグリーンテック(株)代表取締役 表土層調査技術研究会事務局長
1日目③16:20~17:50	建設物価の概要(資材価格の動向など)	大谷 忠広 一般財団法人建設物価調査会 共通資材調査部 部長
1/31(火)	特集3. 断層地震と斜面・法面災害、生物多様性保全	
2日目①9:30~11:00	断層地震と斜面・法面災害について	中村 洋介 福島大学人間発達文化学類 准教授 土木学会斜面工学研究小委員会幹事
2日目②11:10~12:40	災害復旧等におけるヘリコプターの活用	田中 善治 朝日航洋株式会社東京空情支社副支社長 市川 晋 同航空事業本部東日本航空支社 第一営業部営業第一グループリーダー
2日目③13:30~15:00	生物多様性保全に係わる実際的地域区分 (ゾーニング)と斜面・法面災害地の緑化対策事 - 浸食防止から生物多様性保全まで -	中野 裕司 特定非営利活動法人日本緑化工協会 理事長・技術委員長

注) 講師、演題、時間につきましては、講師の都合により変更することもあります。  
 詳しくは、協会 HP をご確認ください。

## 6. 参加申込

参加ご希望の方は、参加申込書に参加者の氏名・勤務先などをご記入の上、FAX、またはE-mailでご送信ください（申込用紙は、次ページ）。

<申し込み記載事項>

勤務先名、所在地

電話/FAX 番号

参加者氏名

参加者 E-mail アドレス

(講習会の連絡・案内などに用います。この他の用途に利用しません。)

## 7. 申し込み期限

申込締切日時：平成29年1月28日(土) 17時

先着160名様で〆切とさせていただきます。

締切が過ぎた場合でも、キャンセルなど席に空きがある場合は対応いたします。

(FAX・E-mailでお問い合わせください)

## 8. 参加料

1名につき、20,000円

参加料は、下記銀行口座へお振り込み下さい。恐れ入りますが、振り込み料金はお負担ください。また、振込を行った後、氏名等をE-mailなどでお知らせ下さい。

振込期日：平成29年1月30日(月)

<振込先(銀行口座)>

みずほ銀行 新川支店(店番号127)

普通預金

口座番号 1479168.

振込先口座名 ニホンリョクカコウキョウカイ

<領収書の発行>

領収書の発行：振込用紙をもって領収書に変えさせていただきます。

領収書などが必要な場合は、申込書にその旨御記載下さい。発行いたします。

予約確認書や参加券などの発送は行いません。ご了承ください。

<講習会終了後の支払について>

ご都合により、講習会終了後にお支払いの場合は、その旨、申込書にご記載下さい。

<変更・取り消しについて>

参加の変更・取り消しについては、FAX、E-mailにてお早めにお知らせください。

## 9. 見積書

見積書が必要な場合は、次ページの見積書をお使いください。

## 10. 申し込み・問い合わせ先

特定非営利活動法人 日本緑化工協会 事務局

〒125-0042 東京都葛飾区金町 5-35-5-206

FAX：03-5660-1664

E-mail：ryokkakou@gmail.com URL：http://www.ryokkakou.jp

※ 事務所に常駐しておりません。

お問い合わせは、恐れ入りますが FAX・E-mail をお願いいたします。

第38回 緑化工技術講習会 申込書

FAX : 03-5660-1664

E-mail : ryokkakou@gmail.com

申し込み日 平成 年 月 日

勤務先名		電話 FAX	
所在地	〒		協会からの お知らせ ※
氏名1		アドレス:	受け取る
氏名2		アドレス:	受け取る
氏名3		アドレス:	受け取る
氏名4		アドレス:	受け取る
氏名5		アドレス:	受け取る
連絡先 代表者氏名		アドレス:	受け取る
連絡欄	その他要望・連絡事項  注) 民間の方には原則として、請求書、領収書の発行は行いません。ご了解ください。 官公庁の方で、請求書、領収書の発行が必要な場合は、宛名、明細などをお知らせください。		

※ E-mail アドレスは、第38回緑化工技術講習会の連絡、及び次回講習会案内などに用います。  
 次回の講習会の案内、緑化工に関するニュースを不定期に流させていただきます。  
 講習会の案内、ニュースを必要とされない方は、「受け取る」を横線にてお消してください。

<b>見 積 書</b>		平成 年 月 日	
様			
東京都葛飾区金町5-35-5-206 特定非営利活動法人 日本緑化工協会 理事長 中野 裕司			
下記のとおり御見積申し上げます。			
税込合計金額 ￥		円也	
品 名	数 量	単価(円)	金額(税込)(円)
緑化工技術講習会受講料		20,000	
合 計			
備 考			